

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ・一般社団法人全国高等学校PTA連合会合同調査
 第8回 高校生と保護者の進路に関する意識調査2017

新設された給付型奨学金の保護者認知は約3割 家庭の経済事情が子どもの進路決定に 「影響がある」と回答した保護者は76%

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長 山口 文洋）と一般社団法人全国高等学校PTA連合会（所在地：東京都千代田区 会長 牧田 和樹）は、高校2年生とその保護者に対し、進路に関する考え方やコミュニケーションの実態を探る調査を実施いたしました。ここに集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

【奨学金制度について】

- 保護者・高校生ともに、奨学金制度の認知トップ3は種類（給付/貸与など）についてであったが、申込方法や利用条件などの具体的な制度については認知が進んでいない。…P.3
- 「新たに『給付型』奨学金が創設された」ことの認知状況は、保護者32%、高校生17%とまだ十分に知られていない。

【経済事情の進路決定影響について】

- 経済事情が進路に「影響がある」と回答した保護者は76%。…P.4
- ・ 続柄別にみると、母親の方が父親より3.8ポイント高い。
- ・ 「影響がある」と回答した保護者の方が、奨学金制度についての認知度が全体的に高い。

【進路に関する考え方】

- 進路に関する考え方は、保護者・高校生ともに「将来役に立つ資格を身につけてほしい/つけたい」がトップ。…P.5
- ・ 保護者の考え方をみると、将来志向（資格取得・安定した仕事・手に職）、費用関連（学費・国公立進学・奨学金活用・家計）などでそう思うの割合が高くなっている。

【貸与型奨学金制度の利用意向について】

- 貸与型奨学金制度を「利用してほしい・したい」と回答した保護者は41%、高校生は32%。…P.6

※出版・印刷物へデータを転載する際には、“「高校生と保護者の進路に関する意識調査2017」

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ・一般社団法人全国高等学校PTA連合会合同調査”と明記ください。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【リクルート進学総研 WEBサイト】

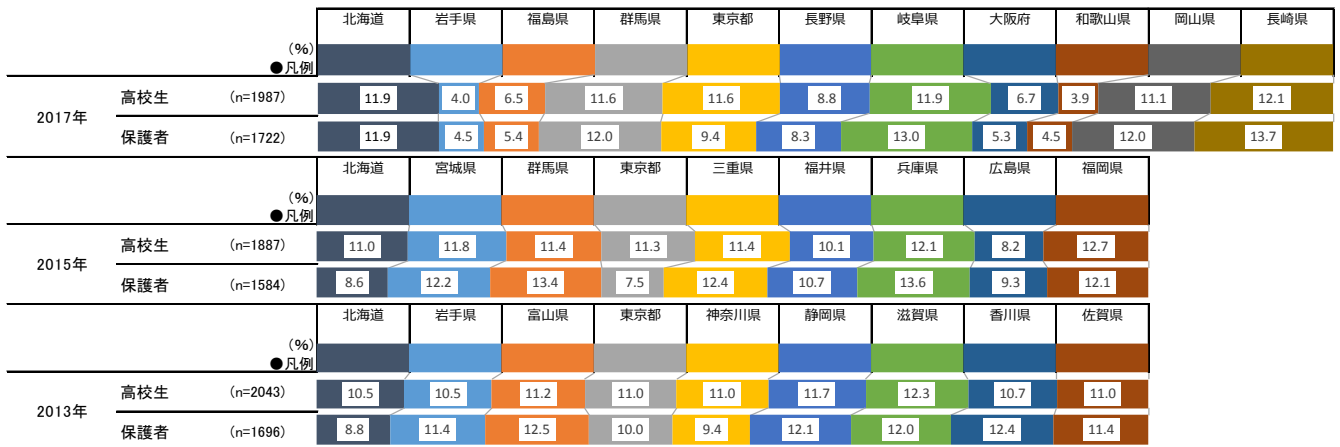
<http://souken.shingakunet.com/>

【調査概要】

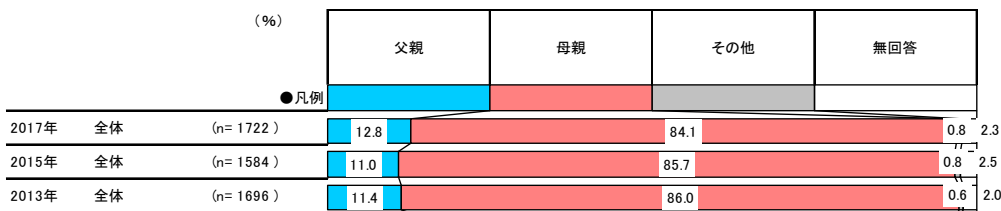
- ・ 調査目的：高校生を持つ保護者とその子どもにおけるコミュニケーションの実態と進路観の現状を把握する
 - ・ 調査主管：一般社団法人全国高等学校PTA連合会、株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
 - ・ 調査対象：高校2年生とその保護者
 一般社団法人全国高等学校PTA連合会より依頼した11都道府県の公立高校27校
 ※岩手県1校、福島県2校、大阪府2校、和歌山県1校、その他7都道府県各3校
 ※各校：2年生2クラスの生徒とその保護者
- | | |
|-------|------------------------------------|
| 2017年 | 北海道 岩手 福島 群馬 東京 長野 岐阜 大阪 和歌山 岡山 長崎 |
| 2015年 | 北海道 宮城 群馬 東京 三重 福井 兵庫 広島 福岡 |
| 2013年 | 北海道 岩手 富山 東京 神奈川 静岡 滋賀 香川 佐賀 |
- ※調査実施校所在地は毎年変わるため、時系列データは参考
- ・ 調査期間：2017年9月15日（金）～2017年10月26日（木）回収終了
 - ・ 調査方法：（1）高校生 ホームルーム時にアンケート実施
 （2）保護者 高校生から保護者へアンケートを手渡しで依頼、実施
 クラスごと学級担任が高校生・保護者アンケートをまとめ、学校ごとに回収
 - ・ 有効回収数：（1）高校生 1987名 ※全問無回答1名を除く
 （2）保護者 1722名 ※全問無回答11名を除く

【回答者プロフィール】

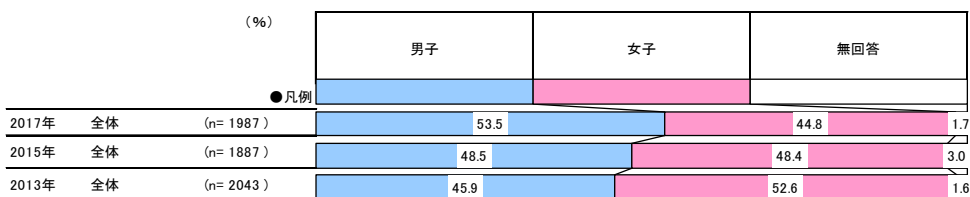
【保護者・高校生】時系列 調査対象校所在都道府県（全体）



【保護者】時系列 続柄（全体／単一回答）



【高校生】時系列 性別（全体／単一回答）



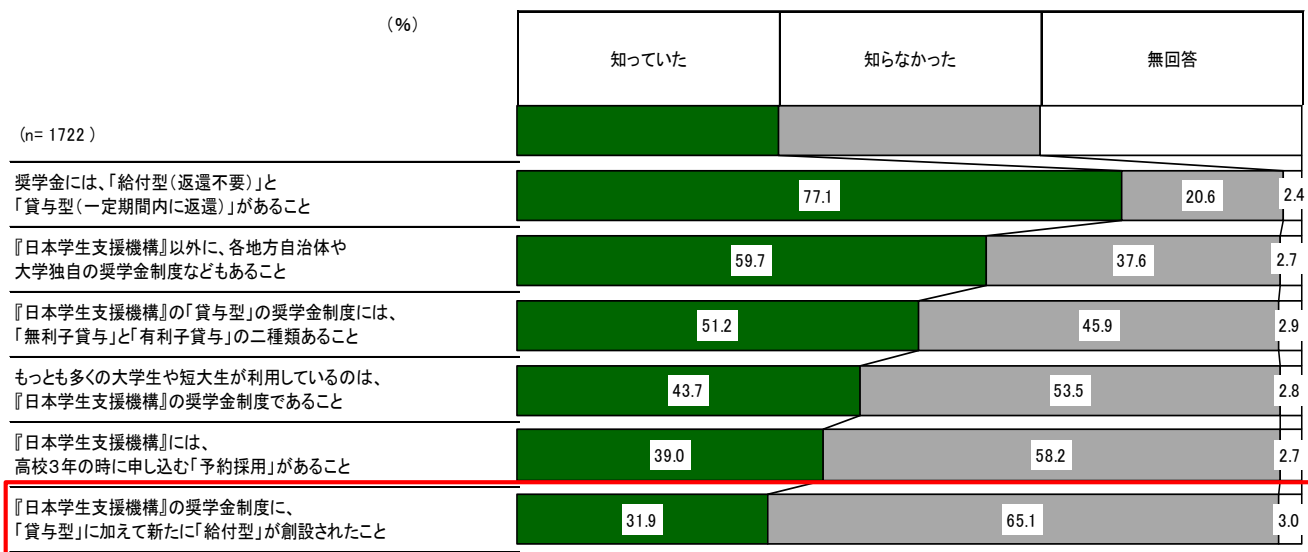
【保護者・高校生】奨学金制度について

■ 奨学金制度についての認知状況をみると、保護者・高校生ともに、トップ3は種類（給付/貸与・大学独自/自治体・有利子/無利子）についてであった。一方、申込方法・利用条件や新制度の創設などの具体的な制度の認知は進んでいない。

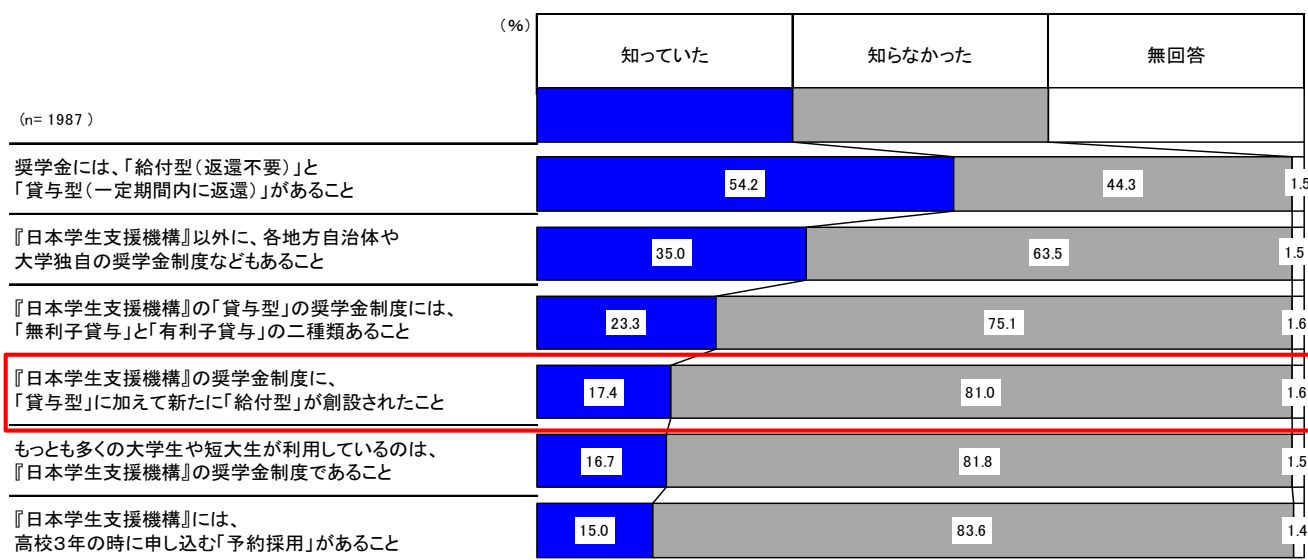
■ 「新たに『給付型』奨学金が創設された」ことの認知状況は、保護者32%、高校生17%とまだ十分に知られていない。

（給付型奨学金制度施行；平成29年4月1日）

【保護者】奨学金制度の認知状況（全体／各単一回答）



【高校生】奨学金制度の認知状況（全体／各単一回答）



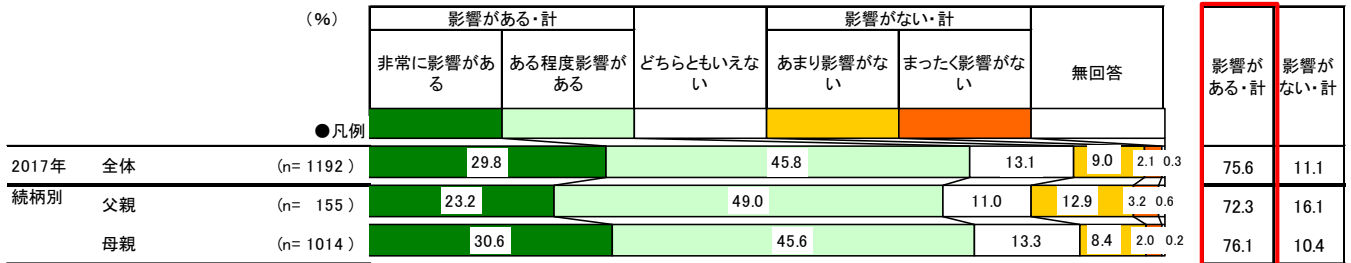
【保護者】家庭の経済事情の進路影響について

■ 経済事情が進路に「影響がある」と回答した保護者は76%。

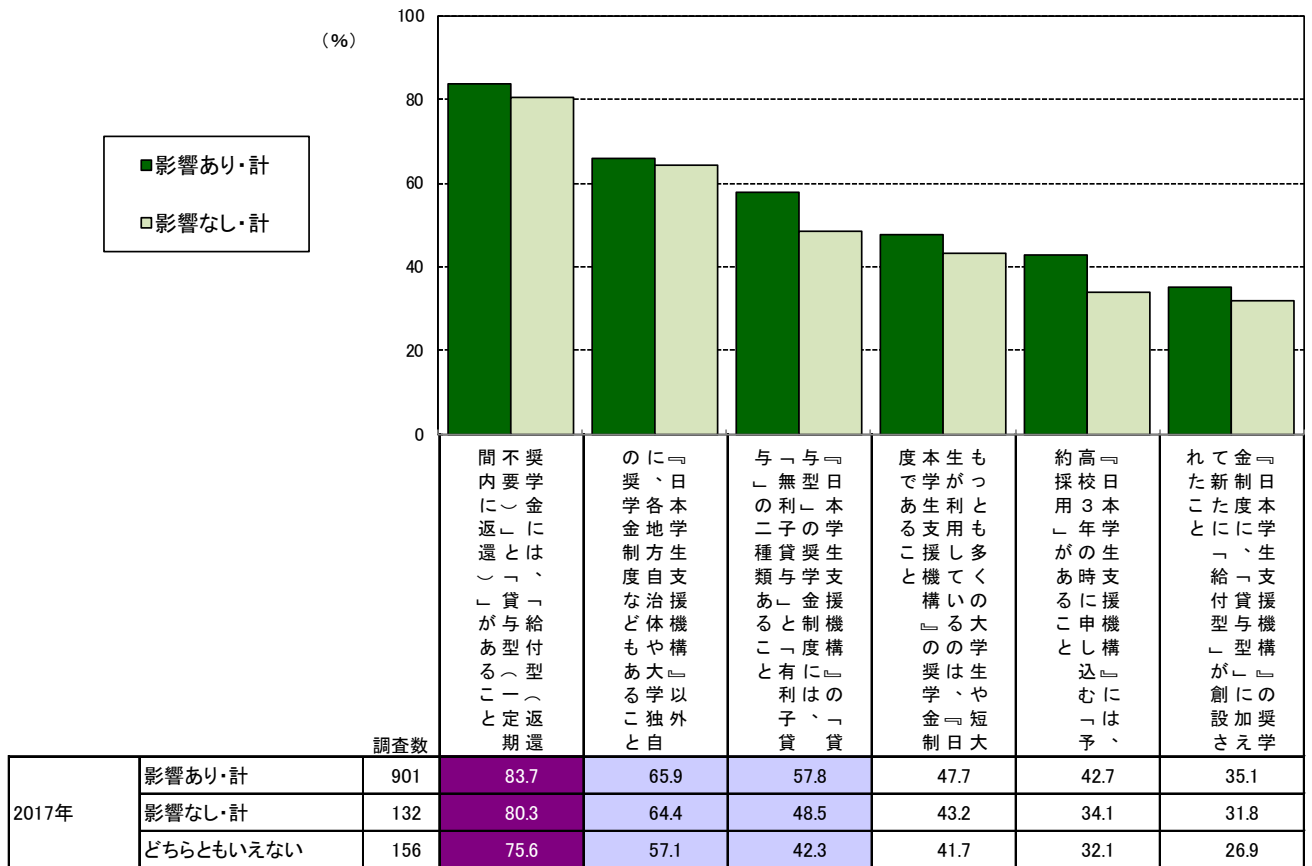
- ・ 続柄別にみると、母親の方が父親より高いスコアであった。
- ・ 経済事情別に、奨学金制度の認知状況をみると「影響がある」と回答した保護者の方が、奨学金制度についての認知度が高い。

【保護者】2017年 家庭の経済事情の進路決定への影響（進学希望者※1）／単一回答

※1 進学希望者；大学進学/短大進学/専門学校進学希望者計



【保護者】家庭の経済事情の進路決定への影響と奨学金制度の認知状況（進学希望者※1）、かつ各項目を「知っていた」と回答した者のみ



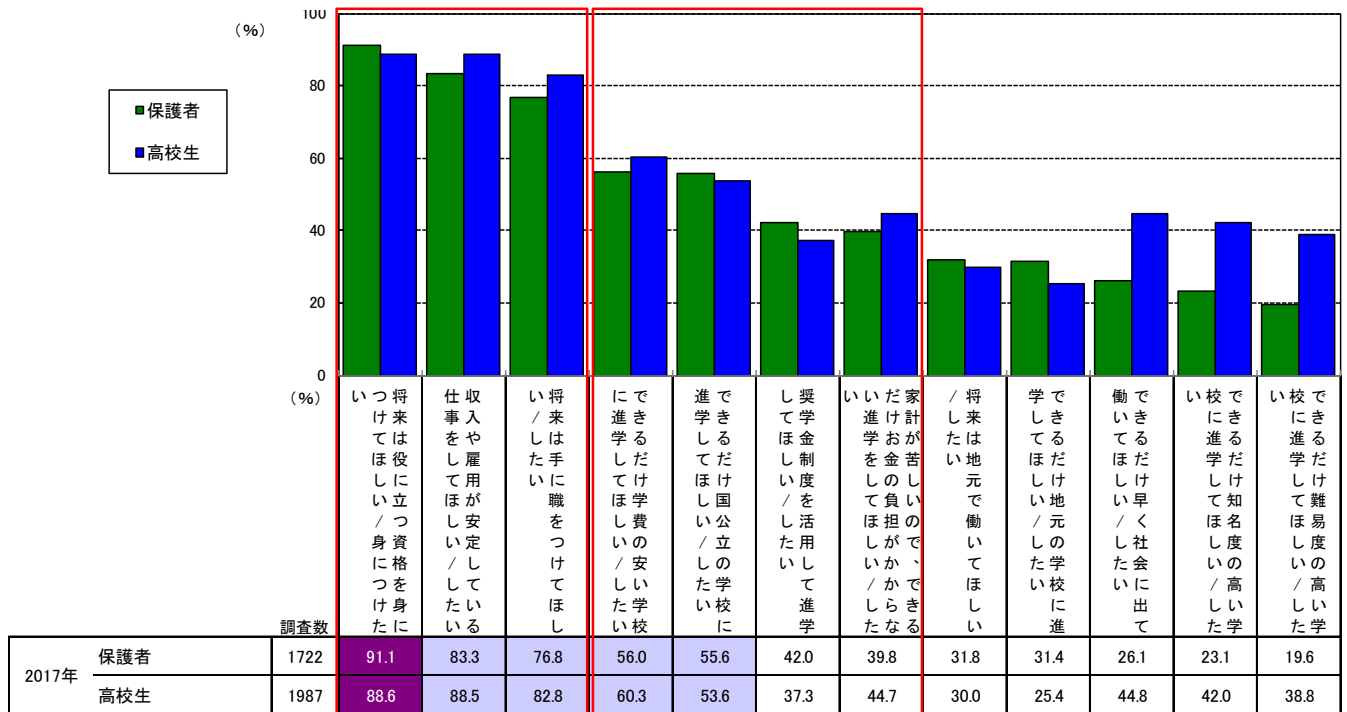
※ 「影響あり・計」降順ソート
 100.0 各項目で最も高い
 100.0 各項目で2～3番目に高い

【保護者・高校生】進路に関する考え方

■進路に関する考え方は、保護者・高校生ともに「将来役に立つ資格を身につけてほしい/つけたい」がトップ。

- ・保護者の考え方をみると、
1～3位は将来志向（資格取得・安定した仕事・手に職）、
4～7位は費用関連（学費・国公立進学・奨学金活用・家計）となっている。

【保護者・高校生】進路に関する価値観（全体/「思う・計」）



※「2017年・保護者」降順ソート

100.0 各属性で最も高い
100.0 各属性で2～5番目に高い

【保護者・高校生】貸与型奨学金制度の利用意向について

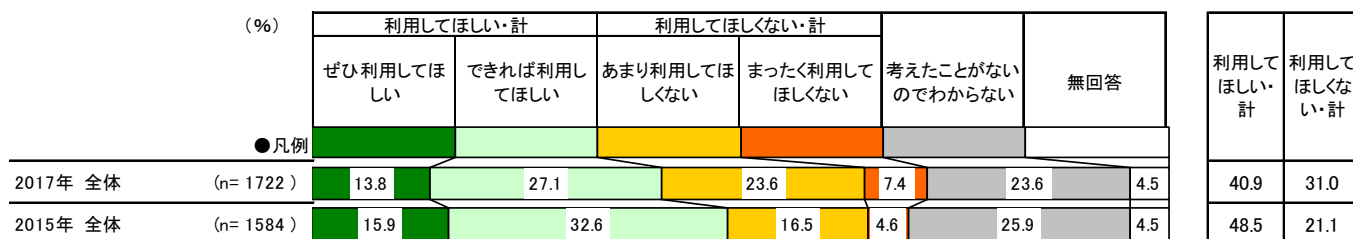
■ 貸与型奨学金制度を「利用してほしい・したい」と回答した

保護者は41%、高校生は32%。

- ・保護者 「利用してほしい」(40.9%) > 「利用してほしくない」(31.0%)
- ・高校生 「利用したい」(32.0%) > 「利用したくない」(20.1%)

・前回に比べると、保護者・高校生ともに「利用してほしい・したい」スコアは減少している。

【保護者】時系列 貸与型の奨学金制度の利用意向（全体／単一回答）



【高校生】時系列 貸与型奨学金制度の利用意向（全体／単一回答）

